

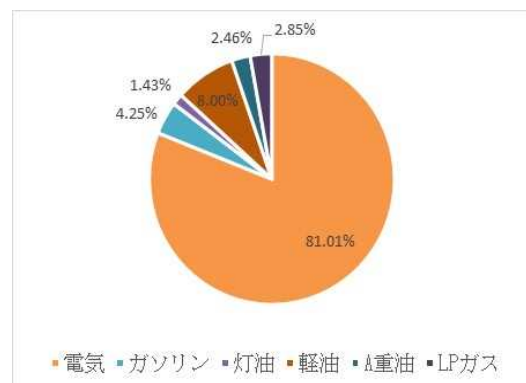
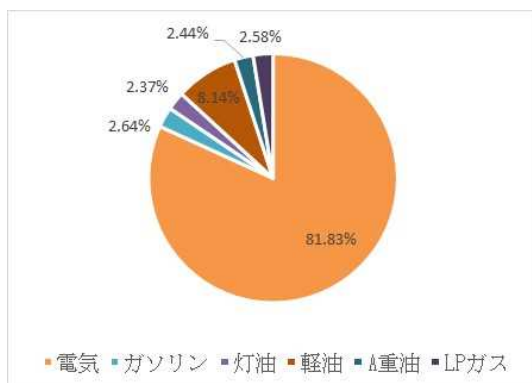
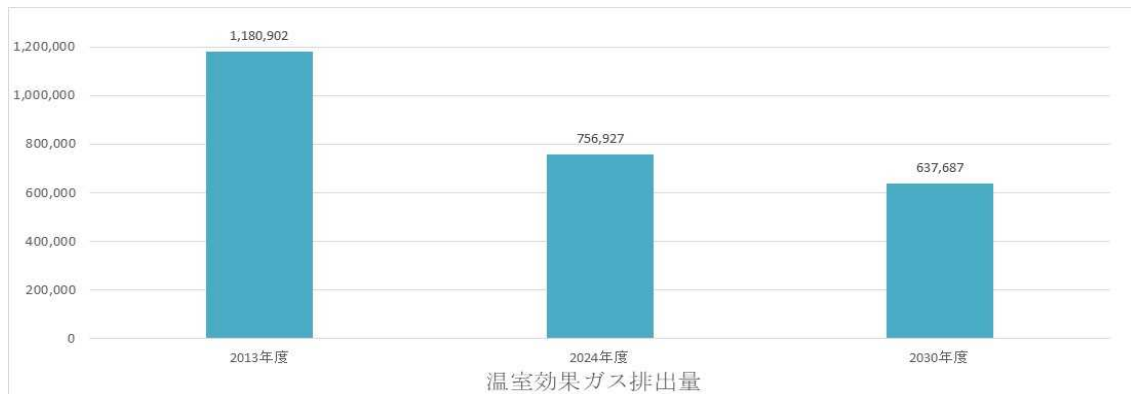
## 神山町の事務・事業における温室効果ガス排出状況について

神山町が行う事務・事業に伴って発生する温室効果ガスの排出量を抑制するため、「神山町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しています。本計画では、本町の温室効果ガス排出量を 2013 年度を基準年度として 2030 年度までに 46%削減することを目標としています。

### 1 温室効果ガスの排出状況

（単位：kg-CO<sub>2</sub>）

排出源	2013 年度 基準年度		2024 年度		
	排出量	構成比率	排出量	構成比率	基準年度比
電気	966,342	81.83%	610,759	81.01%	△36.80%
ガソリン	31,121	2.64%	32,006	4.25%	2.84%
灯油	27,980	2.37%	10,757	1.43%	△61.55%
軽油	96,114	8.14%	60,315	8.00%	△37.25%
A重油	28,862	2.44%	21,545	2.46%	△25.35%
LPガス	30,483	2.58%	21,545	2.85%	△29.32%
合計	1,180,902		756,927		△35.90%



エネルギー種別温室効果ガス排出比率

2024年度（令和6）年度における温室効果ガス排出量は、756,927 kg-CO<sub>2</sub>となり基準年度の2013（平成25）年度の1,180,902 kg-CO<sub>2</sub>に対し35.9%の削減となりました。

## 2 エネルギー別使用量

項目	2013年度	2024年度	基準年度比
電気	1,380,488kwh	1,336,453kwh	△3.19%
ガソリン	13,414L	13,796L	2.85%
灯油	11,237L	4,320L	△61.56%
軽油	37,254L	23,378L	△37.25%
A重油	10,650L	7,950L	△25.35%
LPガス	10,161 kg	6,184 kg	△39.14%

エネルギー使用量ではガソリン以外の項目は基準年度と比べ減少しています。電量使用量は減少していますが、今後夏期の暑さが厳しくなることが予測されるため、使用量の更なる減少は困難なことから、再生可能エネルギー由来の電力を購入することも検討が必要です。ガソリンについては、公用車の適切な使用・管理を徹底し急発進・急加速をしない運転やタイヤの空気圧の点検等を行い低燃費運転に心掛けます。

## 3 まとめ

2030年度の目標達成には排出量を119,240 kg-CO<sub>2</sub>の削減が必要です。排出量削減のため、国の「政府実行計画」に準じ取組を推進する必要がありますが、財政的に難しいものもあります。まずは目標達成のため、クールビズ・ウォームビズの実施や日常的に節電の徹底やごみの分別徹底等の職員による環境配慮行動により、温室効果ガスの削減に取り組めます。